

8-4-2 交通・安全専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 交通・安全専門委員会の開催

委員会開催回数：10回

(8月、3月は休会)

(2) 自主研究

平成30年度は、『地方創生、道路空間のあり方に関する調査研究』を主テーマに3つのサブテーマを設定し、交通・安全に関する技術向上と新たな市場開拓に向けて実施した。3つのサブテーマは、【WG①】地方創生と道のあり方(具体例：立地適正化計画によるまちづくりへの工夫、地域公共交通の活性化による取り組み、小さな拠点づくりによる取り組み、持続可能な物流ネットワークへの取り組み、消滅可能性都市における取り組み等)、【WG②】地方創生を支援する道路空間の工夫、道路空間のオープン化及び低速モビリティを活用した地域交通システム(生活道路系)(具体例：市街地・観光地における道路空間の工夫、立体道路制度、道路占用制度、超小型モビリティ等)、【WG③】インフラ高度化、人とクルマのベストミックスに向けた道路整備(具体例：自動運転、歩車共存、TDM等)とした。

なお、本自主研究テーマは、平成29年度からの継続研究であり、平成30年度は平成29年度の活動成果も含めて最終成果としてとりまとめた。

(3) 現地見学会の開催

「道路空間を活用した地方創生・交通安全」に関連する「自動運転」及び「観光地におけるまちづくり」について現地視察を行った。

- ・ 開催日：平成30年7月3日(火)
- ・ 参加者数：33名
- ・ 訪問地①：さがみロボット産業特区(ロボットシャトル(株式会社DeNAが提供す

る完全自動運転車両による交通サービス)の見学等)

- ・ 訪問地②：埼玉県川越市(観光地における景観まちづくり・交通対策事例の見学等)

(4) フィールドワークの開催

平成30年度の自主研究テーマを踏まえ、低炭素社会の実現に向けた先進的な取り組み、今後の交通手段・道路空間のあり方等に関連の深い施設を対象に現地視察を行った。

- ・ 開催日：平成30年11月13日(火)
- ・ 視察箇所：とよたエコフルタウン(愛知県豊田市)

(5) 最新関連情報の収集

交通・安全に関わるトピック的な事項について、今後の展開方向、建設コンサルタントとしての関わりなどを議論している。平成30年度における主な内容は以下のとおりである。

- ・ 災害時の道路交通確保対策の動向
- ・ 道路交通データのオープン化の動向
- ・ 自転車施策の動向 等

(6) 外部組織への活動支援等

- a) 国交省大学 道路交通安全〔事故対策コース〕への講師派遣

2. 次年度の活動について

令和元年度は、東京オリンピック・パラリンピックを自主研究のメインテーマとし、関連する道路・交通施策や観光・街づくりの取り組み等についてとりまとめる予定である。

また、研究テーマの内容に合わせてセミナー、現地見学会、フィールドワーク等を実施する予定である。

(交通・安全専門委員会委員長 福島 賢一)